

よろっさ やろっさ つなごっさ！春 まち ぽかぽか プロジェクト



かわらばん！ ④

プログラム9 ざっくばらんな話し合い

～よっしゃ！つくるぞ 我がらの「ボラセン」！～

使い勝手のよいボラセンにするための話し合い

2月18日（金） 19時～21時

寺井地区公民館 3階中会議室において

約45名の参加のもと、開催されました。

（ボラセン＝ボランティア・コミュニティ活動支援センターの略）

日	月	火	水	木	金	土
						2/12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26

内容

講師として、ボランティアや市民活動、自治体の協働推進委員として大活躍の（福）大阪ボランティア協会事務局次長 永井美佳氏に、「センターづくりはひとつづくり」と題して、ボランティア活動をもっと元気に・楽しくするヒントを、パワフル且つ、柔らかく、そして、おもしろく語って頂きました。人がいるから和み、人がつながるのが・・・ボラセン！ ボラセンは、ボランティアとの出会いをしに来る人に、ボランティア活動をちょっと頑張ってみたいと思わせたり、何だかワクワクする感じを抱かせるための＜具体的なしかけ＞が必要なのだ。など、大きなヒントが沢山得られた講演でした。私たちのボラセンを創ろうと、具体的な話し合いのために集まった参加者は、講師からやる気と元氣をもらい、終始和やかに楽しく、我がらのボラセンの夢の実現化を語り合うことができました。

まとめ・・・①人寄せの目玉をつくろう。②土・日・祝日・夜間に利用できるボラセンに。③だれでも主体的に関われる場（ここに来れば自分を活かせる）があるとよい。④誰が来てもよい場（自由に出入りできる・憩いの空間）があるとよい。また、ボラセンPRの「のみんちゃん像」を語るも楽しく、「登録」という敷居を高く感じさせる言葉の代わりに「協力・参加・仲間・きずな・・・」などのりに乗った参加者からは、自由闊達に意見が飛び交い、今後の展開を期待する中、閉会しました。



参加者の感想

- * ボラセンについて、皆さんが、真剣に考えを出し合っていることに感動しました。熱心でしたね。
- * 和気あいあいと楽しくてよかったと思います。
- * 出来る時、出来る事を、ちょいボラかな？
- * 今日のこんな雰囲気の話し合いができるボラセンになるとよい。
- * 色々な意見が聞けて、とても良かったです。
- * のみんちゃんの着せ替えや、ネーミングを皆で、考えることが、ユニークでよかった。
- * もっと長く話せたらよかった。
- * 皆で、何かを話す事は、久しぶりなので、新鮮でした。



永井氏のユーモア溢れるボラ談義！ アレンジしたのみんちゃん発表！



談義は弾み、アイデアいっぱい

147万都市京都の京都市市民活動総合センター長 西田洋之氏を講師に、市民が運営している京都市市民活動総合センターの成り立ちから、現在の様子を講演して頂きました。グループワークでは、能美市ボランティア・コミュニティ活動支援センター通称「ボラセン」が、誰もが気軽に利用できるセンターとしてどうあったらいいのか、そのあり方を探る為に、「ボラセンでこんな事業や活動があったらいいのに！」「地域ではこんな困りごとがある」など、ざっくばらんに話し合いました。

まとめ

参加者は大都市先進地のノウハウに刺激を受けつつも、住み良い地域づくりには、多様な市民の活動やボランティア活動の隆盛が欠かせないという根本を確認し合いました。コンパクトシティである能美市だからこそできる、市民が参画する・市民が仲間と共に夢を実現することのできるボラセン。

「いっしょにやろっさ」が合言葉です。市民のコミュニティ（地域）活動・地域づくりの拠点としてのボラセンのあり方について、今後も市民が自由に語り合いながら、みんなでつくりあげることが、大切だと、理解し合うことができました。

